

表紙の写真

セリ科の *Saposhnikovia divaricata* (Turcz.) Schischk., 防風, 4'-*O*-glucosyl-5-*O*-methylvisamminol
(モンゴルドルノド県にて、2015年7月 23日、小松かつ子撮影)

防風は発汗、駆風、解熱、鎮痛薬として、防風通聖散や荊芥連翹湯などに配合される。平成 24 年度の国内使用量は約 178 トンで、すべて中国から輸入される。*S. divaricata* はモンゴルに自生することから、平成 27 年にモンゴル国立大学の先生方と合同資源調査を実施した。同種はモンゴル東部に比較的豊富に自生していたが、乱獲も行われているようであり、今後の栽培化について技術協力の依頼があった。和漢医薬学総合研究所は同大学生物・生物工学部と 2004 年に部局間交流協定を結び、共同で甘草と麻黄の品質評価研究を行った実績がある。生物多様性条約・名古屋議定書の発効が間近に迫る中、共同研究の実績や大学間交流の推進は今後ますます重要になる。